

# 芽室町議会ナビ vol.6

## ～議会はどう変わった？10年の歩みを振り返る～

### # 新しい風！ - 議会改革・女性議員・若手議員の登場 -

かつての議会は限られた人が集まり、紙の資料と会場だけで進んでいました。  
今では女性や若手が加わり、ICTや配信で誰もが見やすく、参加しやすい議会へと進化しています。

## 変わる議会の足跡

- 2013 (H.25)
  - ・議会基本条例制定！
  - ・全会議のインターネット中継／録画配信！
- 2014 (H.26)
  - ・政策形成サイクル導入（政策討論会・町長への提言）
  - ・自治基本条例／議会基本条例／議員倫理条例の自己評価
  - ・子ども議会の検討／議会見学会実施
- 2015 (H.27)
  - ・政策提案を決議
  - ・予算決算特別委員会の常設化
  - ・議会災害時対応基本計画を策定
- 2016 (H.28)
  - ・議員倫理の確立
  - ・議会図書室機能の整備検討
  - ・タブレット端末の導入（ICT化推進）
- 2017 (H.29)
  - ・町図書館との連携による議会資料公開
- 2018 (H.30)
  - ・議論のグランドルールを設定
  - ・監査機能強化のあり方を検討
- 2019 (R.1)
  - ・議会傍聴手続きの全廃（誰でも自由に傍聴可能に）
  - ・議会実行計画（進捗工程表）の導入
- 2020 (R.2)
  - ・町民による議会活動評価を導入（外部評価制度）
- 2021 (R.3)
  - ・委員会のオンライン開催を導入（リモート審議）
- 2024 (R.6)
  - ・議会白書および活性化計画書を改正
- 2025 (R.7)
  - ・議員定数／報酬の見直し

### 議会改革のポイント解説！

何のために改革したか？

- ① 町民に“見える議会”にするため
- ② 町民と一緒にまちづくりを進めるため
- ③ 議会が“政策をつくる力”を高めるため



「わかりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」

### 多様な議員による、より豊かな議論へ！

芽室町議会は、性別や年代が極端に偏ることなく、比較的幅のある議員構成となっています。それぞれが異なる経験や価値観を持ち寄ることで、議論は一方向に偏らず、暮らしや子育て、働く世代の課題など、町の実情に寄り添った多角的な視点が自然と生まれています。こうした多様性は、町の課題をより深く理解し、さまざまな角度から解決策を検討する力となっており、より現実に沿った政策づくりを進める上で、大きな財産となっています。



### 町民の声・議員の声！

「若い人の声をもっと拾ってもらえると嬉しいです。」  
「子育てや仕事の視点が議会に増えたのは頼もしいですね。」



「町民の声を政策に生かせる議会を目指しています」